

きょうたなべ のうぎょう委員会だより

2014.3 発行
春号
会報 第66号
アイデア委員



解説は2ページ



田辺中学校から看板贈呈
『元気のよいレモンをPR』



レモン基準木

会長独占インタビュー



培良中学校から看板贈呈
『レモンのさわやかさをPR』

もくじ

書: 田辺中学校1年 郁七海

- 2ページ・表紙解説 レモンプロジェクト
 - ・農業委員会活動報告
- 3ページ・研修行ってきましたレポート
- 4ページ・田シリーズ ~宮津地区~
 - ・プレゼントクイズ

There is a secret place only of me.

地元中学生を巻き込んだ

プレモジエクト



表紙解説

農業委員会は、農地の有効利用モデル事業として、昨年3月にレモンの苗を定植し、はや1年が経ちました。注目効果を狙って、地元の田辺中学校・培良中学校美術部の皆さんにPR看板を制作して頂き、昨年12月に現地の畑（防賀川公園南側）において、贈呈セレモニー及び看板設置を行いました。その模様は新聞5紙、ケーブルTV等で大々的に報道されたのでご記憶に新しいかと思えます。おそらく人生初めてのTV取材のため緊張されていた生徒さんがレモンのように初々しく思いました。また、これだけ注目されたのだから実を付けるまでは、いや、収穫後の加工、販売、宣伝まで委員一同アイデアを出し合って頑張りたいと思います。今後は、同様のモデル事業を市内各地で展開し、珍しい作物の栽培等も考えています。

この記事を読まれた方、金色の実を付けましたら、これもご縁・義務と思つて、是非地元産のレモンを買つてください。

ところで、レモンの苗木の名前ですが「とんちレモン48」に決定しました！沢山のご応募ありがとうございます。苗木の数（おおよそ）と某国民的グループの人気にあやかつて、皆様のご提案を参考に、親しみがわく名前を付けましたので、覚えてやってください。

（山下明子委員）



PR看板をネジで固定する生徒



活動報告

視察研修を受け入れました！

「レモンプロジェクト」「農地バンク制度」等、耕作放棄地解消に繋がる様々な施策を打っている本市農業委員会は、他府県からも注目を集めています。

昨年11月には、福井県農業会議からの依頼を受け現地で講演を、また、三重県明和町、京丹後市の各委員会については、視察先として本委員会を選んで頂き、会長から委員会で展開する先進的な取り組み等の話をさせて頂きました。

また2月には大阪府農業会議の依頼を受け、事務局から活動の報告等をさせて頂きました。

今後の委員会活動の参考にして頂ければ嬉しく思います。

産業祭に参加しました！

農業委員会の活動と米の消費拡大をPRするため、11月17日に京田辺市産業祭に参加しました。

餅や米粉パンなどの販売や、農業委員が自ら杵でついたつきたて餅を振る舞い、大盛況のもと、あつという間に販売していた餅などは売り切れとなりました。



農地パトロールしました！

市内全域の農地の利用状況調査と、前年度に農地転用及び所有権移転について許可された箇所の履行及び耕作状況の確認を、12月16日に実施しました。

農業委員会は、農地が適正かつ効率的に利用されるよう、これからもパトロールを行い、農地を守っていきます。



農業者と意見交換をしました！

農業者の方々が日頃思っておられることをお聞かせいただくため、12月25日に意見交換会を実施しました。

よりよい農業施策を実現させるため、今回いただいた意見を、農業委員会系統組織を通じて国等への要望や、関係行政機関に働き掛ける活動に活用していきます。



会長の ズバズバとレポート



「儲かる農業を目指そう！」深刻な耕作放棄地問題を解決に導く最良の方向性をこのように表現する林会長。本委員会では、毎年、農業分野で成功を収めている地域や人に着眼し、現地での研修を実施しています。

昨年秋、農林水産祭「むらづくり部門」の総理大臣賞など数々の受賞歴のある静岡県掛川市の田園空間博物館「とうもんの里」を訪れ、当施設の立ち上げ人で、以前は私たちと同じ農業委員の立場でもあった名倉光子さんから、設立に至る経緯などの貴重なお話を伺いました。

とうももん＝「稲面」「田面」

見渡す限り一面の水田地帯、訪問者には「何もないとこ」と映るようですが、「都会の殺伐さや騒がしさが無い」この空間を売り物にしよとすると逆転の発想は、物事をいつも真つ正面から見がちな私たちにとって警鐘を鳴らすものでした。名倉さんという圧倒的なリーダー役が地域の意見を集約し、方向性を定め、行政と一体で取り組む姿には、「農村は自分たちで守るんだ」という熱い意気込みが感じられ、農業者の代表である私たちには大きな刺激でした。



とうもんの里

消費者を集めるアイデア

活動としては、農業体験、食体験、自然観察等を通じて、地元の歴史や文化、農業分野の魅力を伝える取り組み等を展開されています。昼食時には、食文化学習の一环として、地元産がふんだんに使われた行事食（えびす講定食）を頂きましたが、私たちのような県外の人を沢山呼び込み、施設にあるレストランや直売所、イベントなどで楽しんでお金を使ってもら

うことで、地元農家に還元する仕組みがここに確立されています。



地元産づくしの行事食

理念は地産地消

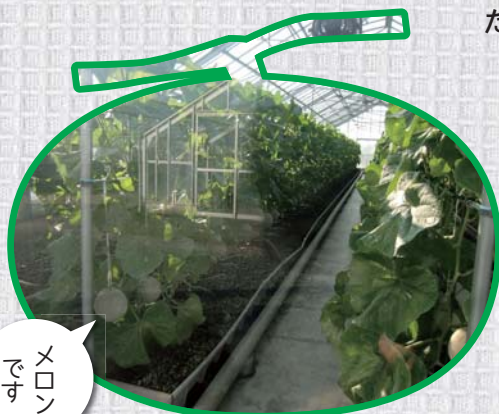
地域で採れたものを、地域の中だけで消費していたのでは経済効果は望めないとの考えから、「地産地消」でなく、「地産地消」をスローガンに、地元へ貢献する取り組みをはじめ6年、来館者は年間8万人を超えるまでになり、人を引き付ける魅力の創造、宣伝の巧みさを用いて、農業・農村の活性化に繋げていく手法には学ぶところが多くありました。

農業の展開力に感銘を受けた面々



メロン組合からの脱退・自園ブランドの立ち上げ

また、名倉さんは隣接の袋井市でメロン農場の経営にも携わっておられ、我々も現場を見させて頂きましたが、7棟のガラス温室をコンピュータで管理を行うことで年間通じて約1万個のマスクメロンを生産、販売されていました。更には、カフェやショップを併設するなど、経営の多角化（6次産業化）にも取り組んでおられ、頂いたフレッシュジュースは完熟で美味しく、消費者を引き付ける仕掛けとして大変参考になりました。



メロンです

コンピュータで品質管理は完璧

今後の抱負

研修で学んだことを活かし、今後の委員会活動及び農業委員として地域に貢献できるように我々一同汗水垂らして頑張っていきたいです！



宮津地区

京田辺市の最南部にある宮津地区は、宮ノ口と江津の2つの集落があり、2つの集落を合わせて宮津と言われています。

私が住んでいるのは、宮ノ口の集落で60世帯が住んでいます。

宮ノ口の集落には、市内最古の神社建築物である白山神社があり、本殿は国の重要文化財に指定されており、毎月の第1日曜日に円座の上で回る朔日講の神楽が奉納されていることで有名です。

佐牙神社は、573年に建てられたとされ、2棟からなる左右両殿同形式の本殿も国の重要文化財に指定され、行事などは江津と山本の氏子で実施しています。

両集落には、『おんころどん』と呼ばれる、田畑を荒らす大敵であるモグラを追い払う習わしがあります。毎年、小正月の前夜に地元の男児が、横槌と呼ばれる縄を巻きつけた野球のバット状の棒

で、『モグラうちおくりのうた』を歌いながら地面をたたき、各家々を回り豊作の祈願をします。横槌は、翌日の朝にとんど（左義長）で焼き払い、その火で餅を焼いて食べ無病息災を祈ります。今も昔の文化、伝統が色濃く残る、それが宮津地区です。

（寄嶋弘委員）



農業委員が丹精込めて作った、ハチク筍(約5kg)! 正解者の中から抽選で3名様にプレゼント!

応募するなら今でしょ!

プレゼントクイズ

レモンの苗たちの名前は?

○○○○○○48

(ヒントは本冊子の中にあるよ)

応募方法と前号の答え・当選者発表

前号の正解は、「すいき」みこしてした。たくさんのご応募ありがとうございました。当選者はY.M様 S.Y様 N.J様

応募方法

○に入るクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙へのご意見・ご感想(ネタでもOK)をご記入のうえ、メール・郵送にて下記の応募先までお送りください。なお、持参されても結構です。

応募先

郵送: 〒610-0393 京田辺市田辺80 農業委員会事務局 宛
メール: nougyo@kyotanabe.jp (件名には「農業委員会クイズ」と記入してください。)

応募期限

平成26年4月20日まで(当日消印有効)

その他

正解者多数の場合は抽選になります。クイズの正解と当選者は、次号で発表します。



訃報のお知らせ

木村照夫委員(出垣内地区)が、平成25年12月8日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

農地法第52条の規定に基づき、農地法及び農業経営基盤強化促進法による貸借の状況を、お知らせします。

農地を賃貸借される場合、賃借料は貸し手と借り手で話し合いをしていただいたうえで、契約を締結して下さい。その他ございましたら、農業委員または事務局までご相談下さい。

賃貸借(有償) 51筆

使用貸借(無償) 968筆

昨年の農地の貸し借りは1,019筆ありました。全体の内、約95%が使用貸借(無償)の契約です。

編集後記

今年も早、2ヶ月が過ぎましたね。日々、田辺ナスの準備に追われている毎日ですが、京田辺市のブランド作物である玉露、エビイモ、田辺ナスに継ぐ新しいブランド作物をつくること、また、農業委員会を取り組んでいるレモン栽培の6次産業化を成功させること、それが私の目標です。

ご愛読のみなさん、いろんなアイデアを聞かせてくださいね。

(小田博委員)

